

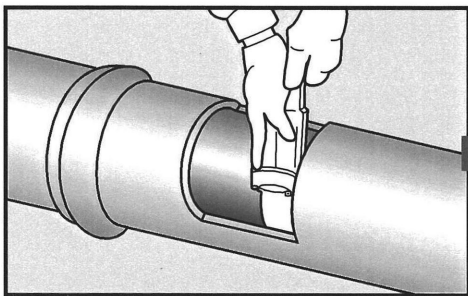
クボタケミックス 陶管用両受けスライド継手 (SLW)

施工のポイント

このたびはクボタケミックス陶管用両受けスライド継手をご使用いただき、誠にありがとうございます。

施工に際しては、本製品の特長を最大限に生かしていただくため、当施工のポイントをご熟読の上、正しい施工を行ってください。

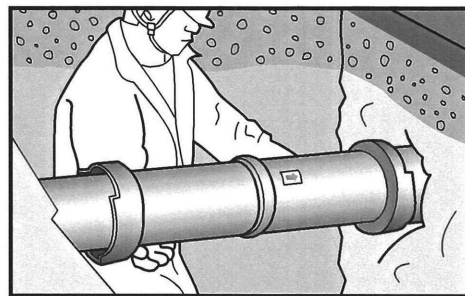
1 既設陶管の撤去



- 既設陶管の撤去位置は、継手の伸長時長さより短くします。
- 撤去後、陶管の清掃を行います。

※撤去時は、上下流側に破損などが生じないように注意してください。

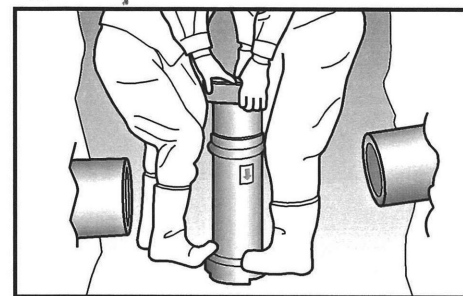
2 仮合わせ



- 継手の仮合わせをします。
- 継手の受口ストッパーに、陶管の差口が接することを確認します。

※継手の矢印と流れ方向を合わせてください。

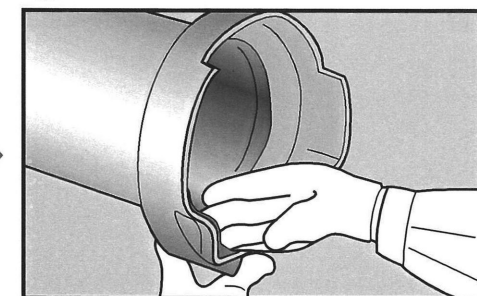
3 組立て



- 継手にゴム輪を装着し、ゴム輪と差口にVソープを塗布します。
- 管軸を合わせ一気に差し込み、数回スライドさせて容易に動くことを確認します。

※ゴム輪の装着方向に注意してください。
※差口への滑剤塗布は、幅広く、多めに塗布してください。

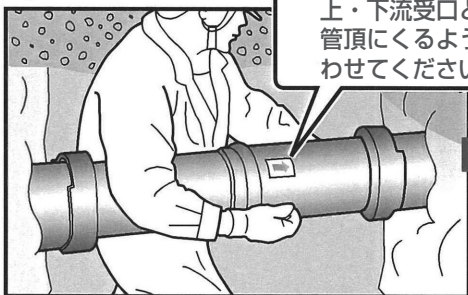
4 敷きモルタル



- 継手の陶管受口に敷きモルタルを施します。
- 敷きモルタルには、粘土セメントを使用します。

※敷きモルタルは、スペーサーの高さよりやや高めを目安にしてください。

5 接合

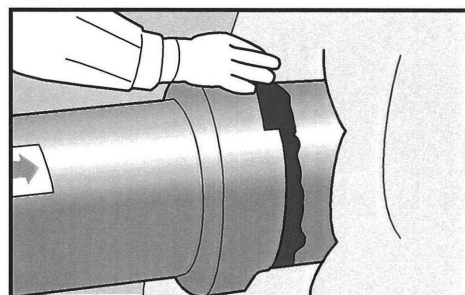


⚠ 管体マーク(KCビニルパイプ...)を、上・下流受口とも管頂にくるよう合わせてください。

- 継手を既設陶管に接合します。
- 継手が下方に下がらないように陶管と受口のスキマに石などを詰めて管心を合わせてください。

※継手の矢印と流れ方向を合わせてください。

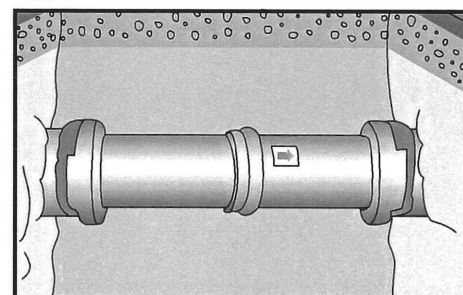
6 モルタルの盛付け



- 継手と既設陶管の接合部のスキマに粘土セメントを充填します。

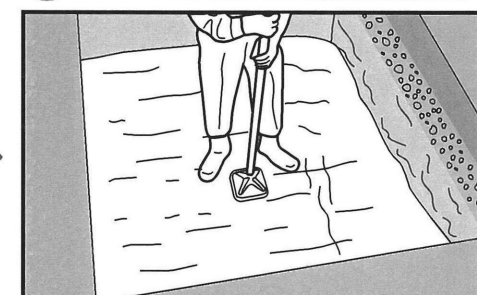
※スキマが無いように充填してください。

7 完了



- 継手の上部は、粘土セメントを多めに盛付けます。

8 埋め戻し



- 埋め戻しは、30分以上経過してから行います。

※継手周囲は、十分転圧してください。

株式会社クボタケミックス